

平成28年度 学校評価書（誠英高等学校）

学 校 目 標	一人ひとりを大切にし、確かな学力と柔軟な精神力を身につけ、たくましい社会を生き抜く力を育む。
重 点 目 標	①国語力の重視と基礎学力の不足を補う工夫と、各科に応じたシラバスの作成と評価法の吟味を行う。 ②建学精神を伝授し基本的な生活習慣を確立させる。また、教職員との信頼関係を構築し、生徒相互間の好ましい人間関係を育成する。 ③幅広いキャリア教育の展開と学年に応じた段階的指導を行う。 ④事務業務の簡素化に取り組む。

学 校 自 己 評 価				
目 標			評 価	
番号	重点目標	具体的方策	取組の成果	次年度への課題と改善
①	国語力を重視し基礎学力の不足を補う工夫と、各科に応じたシラバスの作成・評価法の吟味を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 漢字テストの効果的利用と常用漢字の読み書きの慣用指導。 静思抄を通じた正しい言葉と文字の慣用指導。 シラバスの作成と効果的な活用及び内容の見直しを行う。 指導過程における適切な PDCA サイクルの確立。 適切な授業評価の実施と評価の効果的活用の実践。 	校内漢字テストにむけた朝学を実施するクラスが増えた。静思抄の活用も昨年度同様取り組むことができた。静思抄により、いじめ、問題行動等の早期発見につなげることもできたクラスもあった。 学年によっては、生徒による1週間ごとの自己評価を行い、週目標・反省を繰り返し、よりよい学校生活を送ることができていた。 アクティブラーニングの研修を重ね、研究授業を実施することにより、科・コースを意識した教科指導に取り組むことができるとともに、授業内容の見直しも進んだ。	アクティブラーニング研修を活かした授業実施、および見直し。
②	建学精神を伝授し基本的な生活習慣を確立させる。また、教職員との信頼関係を構築し、生徒相互間の好ましい人間関係を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 授業、学校行事等を通じた校訓の理念と精神の指導を徹底する。 さわやかな挨拶、身だしなみ、礼法の指導の徹底を図る。 正しい言葉遣い、状況・立場に応じた行動と敬語の指導。 いじめの防止、早期発見、迅速対応、適切な措置を徹底する。 生徒間トラブルの防止、思いやりの心と協調性を育成する。 保護者・家庭との連携強化を図る。 部活動への積極的な参加・加入を呼びかける。 規律・マナーの習得を目指した指導の徹底を図る。 	例年通り月頭訓話やLHRで建学の精神についての講話を行った、創立90周年記念式典に続き校訓碑も建立しことで本校に対する帰属意識をより高めることができた。 校門指導（朝だけから夕も実施）・週番活動・月一回の服装頭髪指導を継続的にを行い、学年クラスの枠を越え、挨拶・身だしなみ・礼法指導を行うことができた。 服装頭髪指導については期限を切り再検査を実施し徹底を図ることが定着した。学年・クラス間での情報交換だけでなく保護者とも連携を図りいじめ防止に努めた。 学級通信の発行を行い、学校での様子を家庭・保護者に知らせ連携を図っているクラスもあった。	朝終礼、授業開始、終了時の礼法指導の徹底および時間厳守。 個人面談の実施を徹底し、家庭との連携を強化する。 学級通信の発行をすすめる。
③	幅広いキャリア教育の展開と学年に応じた段階的指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の意義と必要性の認識徹底を図る。 年次指導による系統的・段階的な指導体制を実践する。 	各学年に応じた進路ガイダンスを行い、生徒自らの適性を考えさせ、将来の自分の姿を設定させることができた。保護者に対する進路説明会も内容をより充実させ段階的に実施した。	進路に関する保護者対象の説明会を継続する。
④	事務業務の簡素化に取り組む。	事務的提出書類等のデジタル化を図る。	情報伝達や共有は黒板、紙面とHP・デスクネットのあらゆる方法で取り組むことが日常的に行われるようになりより効率的になった。	簡素化よりも効率化を図る。